ジェトロ・ソウル事務所
2023 年 1 月 12 日作成

低付加価値の海外シフトにもかかわらず依然として主要な繊維産業

1980 年代の繊維産業は韓国の主力産業として脚光を浴びていたが、今は賃金の高騰などで、低付加価値繊維産業は海外へシフトしている。しかし、高付加価値繊維産業、特に縫製/衣類などの分野は依然として韓国の主要な産業であり 10 万人以上の雇用を創出している。日本企業が生産する高付加価値裏地などへのニーズが高い。

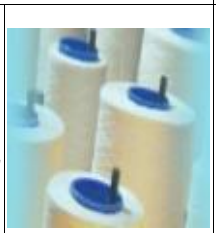
韓国の繊維産業は海外依存型

韓国の繊維産業は、原材料の 3 分の 1 を海外から輸入・加工し、完成品を作り、その完成品の 3 分の 2 を輸出する「海外依存型、輸出主導型」である。川上から川下までの生産工程は、原料、原糸、織物、染色、衣類縫製、流通に分類されるが、国内にすべての工程を備えており、雇用創出効果および高付加価値が期待できる産業である。

韓国における繊維製品の輸出額は、1987 年に初めて 100 億ドルを突破して以降、2001 年まで毎年 100 億ドル超の輸出額を誇った。しかし、近年は賃金の安いアジア諸国などに生産拠点がシフトしている状況であるため、業界自らが意識的に、量から質へ転換を図っている。消費者に好まれるデザイン、機能を重視した高付加価値製品の生産のために、多品種・少量生産の体制へとシフトしている。2018 年の世界貿易機関（WTO）の統計では、韓国は世界第 10 位の繊維・衣類輸出国となっている。

韓国国内における工程別繊維産業の現状は以下のとおり。

表　韓国繊維産業の工程別現状

業種		企業数（社、割合）	従業員数（名、割合）	生産（10 億ウォン、割合）	備考
り繊維原料/原糸（天然/化学繊維）		2,133 (4.7%)	19,347 (7.0%)	5,574 (14.7%)	大手企業中心。 化繊と天然繊維に区分。 化繊生産世界 5 位（中国 1 位）

Copyright © 2023 Japan External Trade Organization (JETRO). All rights reserved.

業種		企業数（社、割合）	従業員数（名、割合）	生産（10 億ウォン、割合）	備考
織物/ニット		12,429 (27.2%)	65,782 (23.7%)	8,609 (21.9%)	大邱市（化繊織物）、京畿道（ニット）中心。 韓国繊維産業の代表的輸出品目。 技術水準は日本より低い
染色/加工/捺染		4,033 (8.8%)	32,841 (11.8%)	3,685 (9.4%)	京畿道、大邱市、釜山市などに産業クラスターあり。 技術水準は高い。
縫製/衣類		23,030 (50.3%)	124,504 (44.8%)	15,328 (38.9%)	繊維産業の中心分野。 イタリア、フランスより水準が低い。
産業用繊維		3,306 (7.2%)	26,444 (9.5%)	4,689 (11.9%)	産業化初期段階。 炭素繊維など。 米国、日本、ドイツより技術水準が低い。

(出所)企業数、従業員数:統計庁全国事業体調査、生産:統計庁鉱業・製造業調査

韓国繊維産業連合会によると、2022 年 8 月の韓国の繊維製品の輸出相手国 1 位は 1 億 6,310 万米ドルのベトナムで、2 位は米国 1 億 4,091 万米ドル、3 位は中国 1 億 2,818 万米ドルで、日本は 4,641 万米ドルの 5 位であった。他方、輸入相手国は、中国が 1 位で 7 億 8,185 万米ドル、2 位はベトナムで 5 億 6,588 万米ドル、3 位はイタリアで 1 億 1,958 万米ドル、日本は 7 位で 4,354 万米ドルであった。

品目別輸出額では、繊維織物類が 1 位で 4 億 3,618 万米ドル、2 位は繊維製品（完成品衣類、衣類アクセサリーなど）で 2 億 7,702 米ドルであった。品目別輸入は、繊維製品（完成品衣類、衣類アクセサリーなど）が 16 億 3,411 万米ドルの 1 位で、2 位の繊維織物の 2 億 969 万米ドルとかなりの差があった。

Copyright © 2023 Japan External Trade Organization (JETRO). All rights reserved.

韓国の高級裏地市場、日本、イタリア、ドイツ産が人気

繊維産業のうち、裏地の生産および販売を手掛ける専門会社 A 社にヒアリングを行った。裏地とは、スーツやワンピース、スカート等の裏側に使われる生地を指す。すべりをよくして着脱しやすくし、衣類の型崩れを防ぐなどの目的で使用され、高級衣料（高付加価値製品）には不可欠なものとなっている。

同社の関係者へのヒアリングポイントは以下のとおり。

- 韓国の裏地市場は、低価格製品の場合、中国産、ベトナム産が中心であるが、世界的な中国排除の動きから最近はかなりの量がベトナム産に代替されている。高価格製品は日本産、イタリア産、ドイツ産が中心で、機能性製品が多い。機能性製品とは、着脱しやする等の本来の目的に加えて、例えば速乾性や汗の臭いを防ぐ防臭効果のある製品や、夏用スーツに使われる冷たい肌触りの裏地生地、保温機能の裏地生地などである。
- 日本産は大手繊維メーカーの原反・原糸を使用している。日本企業の特性として、韓国内に独占代理店または少数の代理店を運営する営業方式を採用することが多く、メーカーと直接コンタクトすることが難しい。それが在庫の多様性不足、納期遅延などの原因となっているのではないか。今後は複数の企業に代理店を認めるなど、工夫してほしい。
- 現在使用している製織機械は、日本の津田駒工業の製品である。
- 繊維業界の現在の関心事項・課題は、〇環境配慮型のリサイクル素材の活用、〇コロナ禍・ウクライナ戦争などによる原材料の高騰・品薄への対応で、当社もこれらに積極的に取り組んでいる。

以上

〇作成：ジェトロ・ソウル事務所

【レポートの利用についての注意・免責事項】本レポートは、日本貿易振興機構（ジェトロ）ソウル事務所が委託先 ECPlaza Network Inc. に作成委託し、2022 年 10 月に入手した情報に基づき作成したものです。掲載した情報は作成委託先の判断によるものですが、一般的な情報・解釈がこのとおりであることを保証するものではありません。本レポートはあくまでも参考情報の提供を目的としており、提供した情報の正確性、完全性、目的適合性、最新性及び有用性の確認は、読者の責任と判断で行うものとし、ジェトロおよび ECPlaza Network Inc.は一切の責任を負いません。これは、たとえジェトロおよび ECPlaza Network Inc. が係る損害の可能性を知らされていても同様とします。

【レポートの内容に関するお問い合わせ先】
ジェトロ・ビジネス展開支援課　BDA@jetro.go.jp
（2023 年 4 月 1 日以降はジェトロ・海外展開支援部戦略企画課個別支援班　ODA@jetro.go.jp）

Copyright © 2023 Japan External Trade Organization (JETRO). All rights reserved.

◆「海外発トレンドレポート」読後アンケートにご協力ください◆

本レポートは皆様の海外ビジネスにお役に立ちましたでしょうか？

今後の参考のため、**役立ち度アンケート**にご協力頂けましたら幸いです。

（所要時間：約1分）

Copyright © 2023 Japan External Trade Organization (JETRO). All rights reserved.